

当病院は「severe AS 患者における術前治療としての BAV および消化器癌手術の安全性に関する研究」を行 なっています

【研究の意義・目的】

重症大動脈弁狭窄症（severe AS）患者さんにおける非心臓手術はリスクが高いとされている一方で、一定の効果があるとも言われており、その有効性は確立されたものではありません。

そこで、この研究では消化器癌を有する重症大動脈弁狭窄症の患者さんに、バルーン大動脈弁形成術（BAV）を行った後に消化器癌手術が施行されることの安全性について検討し、治療介入の妥当性や必要性を評価することを考えています。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において 2007 年 1 月から 2016 年 12 月の間に、重症大動脈弁狭窄症に対してバルーン大動脈弁形成術を行った後に消化器癌手術を施行した患者さんを対象としています。

ご提供いただく情報は、年齢、性別、循環器疾患の既往歴、消化器癌の種別、心エコー所見の推移、手術時間、出血量、術後合併症の有無、術後在院日数などです。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さんに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究の代表者は小倉記念病院 外科 田中明 です。

【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は研究終了後 2 年間保存した後、適切に破棄します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 外科 担当者 阪本 裕亮
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目 2 番 1 号
電話 093-511-2000（代）